

動画像処理技術で広がる 人に優しい社会の実現



情報システム工学講座
講師 西原 功

研究分野

動画像処理技術、コンピュータビジョン、
ヒューマンインタフェース^(*)技術

研究内容

主にリアルタイムな動画を対象として、見やすい動画への自動変換技術や、カメラを用いた遠隔見守りシステムの構築の研究を行っています。また、民生機器を用いた自動データ収集システムや、簡便な3次元映像表現手法についても研究しています。

私の研究のポイント

動画は文字やイラストと比較して人間に分かりやすい一方、コンピュータにとって処理が困難な対象のひとつです。これらの情報を扱うためには、高速処理のための計算技術や、効率の良いアルゴリズムが必要です。このような高速画像処理技術を主な対象として、日常生活や介護見守りがより快適になるような、高齢化社会に適応した社会を実現するための、様々な人間活動支援技術を研究しています。また、実用化に向けた汎用機器によるシステム構築や、情報の可視化表現技術として3次元空間制御技術などについて研究しています。

REPORT レポート

高速な動画の補正技術の研究



撮影時の振動、手振れ、陽炎
などで、見づらい映像になる

画像処理による
見やすい映像の生成



人に優しい環境の構築



人間を対象とした
映像通信コミュニケーション

画像処理を用いた見守り
異常の自動検知

